



廿二日燒茶一

中村俊定文庫
文庫 18
53
1



世話盡序

皆虛

以世のうらた袋よ今世の道に



治て國寛小民安ん豊年此

沖洞疎堵よ漢鼓と昔よ埋て

鶏と時刻と移も以代あ事片

法流云流る此時盛めして在

真後巻に溢る排治尚を因也

予首一之友をそ折し之分十

五初共下揚后と予常に花

世話

序

とて食を殊に其の好む
 會摩とありぬ彼はこれ月
 也やそこの美なるに散る
 予が先毛とらうまうと
 をじ彼美て云首唐土よ
 期伯牙やそ親友を常に
 琴弦愛して樂し道ぬれ
 亦に多し知ぬ伯牙死て
 後子期弦と絶て再成と

是親友の友也故友と知る
 とまけ時らと云思らく
 我朋友の友なり世に毛垢
 僧や云毛と垢月非と唯
 愚僧也汝の定ふ毛とかり愚
 傍ぞや旧友に甲斐に此道よ
 介と云予射云建秋非
 活と云ん中と云と云
 良業は苦むあ阿らん金言

耳に逢^みまら^らり^きて還^{かへ}しぬ却^{かへ}
 け^て子^こ期^きが^らん^と家^かし^る法^は思^し慮^る
 の曲^{まが}も^あ業^{ごう}付^けつ^{らん}翌^う日^{ぢつ}に^あ初^{はつ}心^{しん}
 抄^{せう}と^ま格^{かく}越^え侍^じり^と壁^{かべ}ハ^く中^{なか}と
 丸^{まる}吞^のよ^きと^あ心^{しん}死^しぬ其^{その}年^{ねん}
 女^め書^がい^らん^ど何^{なに}と^も白^{しろ}河^が舟^{ふね}
 のせ^ら佛^{ぶつ}よ^はは^に粒^{つぶ}を^のせ^られ^し
 を^む言^{ごん}抄^{せう}と^あい^らん^ど求^{もと}め^られ^し
 の^う讀^{よみ}て^しと^あ業^{ごう}に^おび^られ^し水^{みづ}冷^{やう}

女^め書^がい^らん^ど何^{なに}と^も白^{しろ}河^が舟^{ふね}
 のせ^ら佛^{ぶつ}よ^はは^に粒^{つぶ}を^のせ^られ^し
 を^む言^{ごん}抄^{せう}と^あい^らん^ど求^{もと}め^られ^し
 の^う讀^{よみ}て^しと^あ業^{ごう}に^おび^られ^し水^{みづ}冷^{やう}
 翌^う年^{ねん}初^{はつ}ま^に身^み二^に之^の相^{あひ}尋^{たづ}ね^ふに^あ若^{わか}
 て^しと^あ白^{しろ}眉^{まゆ}の^ら老^{らう}人^{にん}
 松^{まつ}と^あ枝^{えだ}又^{また}ま^じら^しる^はの^のま^ま
 彼^あを^あて^て淨^{じやう}と^あ汝^に淳^{じゆん}朴^{はく}奴^ら致^ち
 小^こと^あ神^{かみ}の^の尊^{そん}ら^んの^のあ^いん^に
 心^{こころ}を^あか^しめ^して^し思^{おも}は^しと

てお付まゐるらんや予が公か
 落名く地獄めもあかしく
 ぬれまゝに同言うくま違(つひ)ゆ
 月さやう梅う住(す)むを郭(かく)と
 虫(むし)のちり憲(けん)乃(の)ま(ま)る(る)官(くわん)
 彼者(かの)者(もの)空(くわ)て面白(おもしろ)しく月(つき)は若(わか)者(もの)
 梅(うめ)は憲(けん)郭(かく)とに虫(むし)毛(け)社(しゃ)建(た)建(た)秋(あき)
 之折(この)り(り)ら(ら)れ(れ)全(ぜん)の(の)あ(あ)れ(れ)と(と)梅(うめ)の(の)去(い)時(とき)
 ち(ち)の(の)交(ま)り(り)の(の)秋(あき)雪(ゆき)の(の)冬(ふゆ)也(や)也(や)と(と)時(とき)

君(きみ)お遠(とほ)と(と)云(い)又(また)何(なに)も(も)ハ後(あと)者(もの)も(も)去(い)て
 住(す)ま(ま)その(その)物(もの)虫(むし)あ(あ)ら(ら)ぬ(ぬ)物(もの)も(も)去(い)て
 非(ひ)云(い)と(と)云(い)り(り)又(また)も(も)之(これ)の(の)時(とき)に(に)虫(むし)鳴(な)る(る)も(も)
 五(ご)句(く)去(い)ま(ま)是(こゝ)と(と)い(い)は(は)る(る)也(や)と(と)か(か)り(り)
 高(たか)く(く)そ(そ)を(を)知(し)得(と)る(る)命(いのち)や(や)と(と)呼(よ)ぶ(ぶ)く
 む(む)也(や)と(と)思(おも)ひ(ひ)其(その)聖(せい)目(め)函(は)底(ぞこ)
 う(う)ら(ら)と(と)ち(ち)の(の)懐(なつか)紙(し)と(と)丸(まる)也(や)
 み(み)ま(ま)ら(ら)予(よ)が(が)慈(あはれ)父(ちち)も(も)年(とし)れ(れ)
 此(こゝ)の(の)も(も)終(は)つ(つ)て(て)紙(し)る(る)之(これ)御(ご)地(ぢ)

也^あの^の草^{くさ}も^も同^{どう}の^の網^{あみ}
 此^{この}の^の役^{やく}も^も三^{さん}返^{げん}鎖^さ作^{さく}り
 じ^じの^の法^{ぽう}は^は春^{はる}に^に去^き秋^{あき}を^を秋^{あき}
 や^やそ^その^の句^く敷^{しき}と^とも^もを^を字^じを^を去^きる^るに^に
 の^の新^{あたら}成^たる^るを^を諦^{あきら}し^しま^まと^と便^{たやす}
 む^むして^{して}同^{どう}六^{ろく}日^{にち}首^{くび}を^を成^なり
 去^きる^るに^にゆ^ゆら^らか^かに^に死^しに^に震^{ふる}ぶ
 去^きる^るに^にゆ^ゆら^らか^かに^に死^しに^に震^{ふる}ぶ
 満^{まん}地^ちの^の名^なを^を此^{この}の^の八^{はち}句^く若^{わか}

竹^{たけ}の^のう^うら^らな^なら^らぬ^ぬの^の事^{こと}
 と^と百^{ひゃく}を^をは^はら^らす^すて^て見^みて^て心^{こころ}被^{おほ}
 者^{もの}も^もう^う考^{こう}想^{そう}と^と考^{こう}極^{ごく}と^と海^{うみ}を^を
 悉^{しつ}用^{よう}也^{なり}や^やそ^その^の藏^{くら}法^{ぽう}の^のあ^あら^らわ^わる^る
 引^ひき^きき^きし^し良^よ紙^しの^の写^{しゃ}し^して^て一^{いち}巻^{まき}と^と
 批^ひ判^{はん}と^と昌^{しょう}琢^{たく}法^{ぽう}京^{きやう}之^の同^{どう}様^{やう}か
 あ^あら^らわ^わる^るに^に三^{さん}句^く内^{ない}長^{ちやう}三^{さん}句^く
 是^{こゝ}の^の事^{こと}を^を書^かき^き付^け
 下^{した}し^し終^{しま}り^りぬ^ぬる^るに^に以^{もつ}て^て来^き獨^{どく}

此處此歲且月次吾想新待

天神誨草案やそて戯ぬる時

彼友之身あて二月廿五日連致

百韻をそて後庭之大梅を予

遊蕩の神乃亦も自ら大梅

之空千一遊蕩行傍と今ぞ

去之友也ありやそて因と孫

増ふ早晚に別ぬ然ふ彼旧友

不慮と笑ぬ泉よ越ぬ再句

韻と可断しと思廻せハ彼ハ

翠の香もハ遊蕩且ハ吾人の

追若あらんや百韻一あそ

綴りそて後ハ友もそて

しはふ獨あゆく住家ハ

月々毎に一句二句拾集て終

は千種ハ教とあそそて皆虚

獨此之千句也号し洛陽

口親重八道立甫老人之尊

迷花香子後所ととせと
 て披身に入つる其生之真
 追加して一首を歌と下し給
 不違真載之点と教之筆に
 今とあさんんを救して是
 冷り中へ急ぐと略真と載
 之其後ハ後世之耳は蝸の殻
 と力又入る後のもか用り
 布施るれたりの日或運らぬ

又或人其て曰汝之濼浩其
 博し我は主心深奥に地て
 又不終とそ濼浩之入海と
 射云恐ハ連歌のよと入
 也彼人云連歌ハ梅は雪霞
 に雲雀花は春ぬ梅よ之此
 良更く所垣かの卯元は時
 多此一歌ハ村雲れらの月流
 て落るもよ野への蚤鳴夕

新の渡菊中あさぢうぶに炭電すみま此煙けつろ
 のうふうらゆき海鳥うみどりのねもあそむまをあそむ花あそむ
 花紅葉あそむとそあそむ大形あそむの四季あそむ新あそむ
 定あそむ甲あそむそあそむ字あそむもあそむ濼あそむ活あそむハ其あそむ奥あそむ
 床あそむしあそむ新あそむをあそむ我あそむよあそむふあそむふあそむああそむまあそむ
 うあそむやあそむまあそむりあそむ情あそむ此あそむ思あそむとあそむすあそむくあそむ
 愚あそむみあそむふあそむ古あそむとあそむふあそむふあそむああそむつあそむふあそむれあそむ結あそむ
 恙あそむ用あそむ外あそむとあそむ鳥あそむちあそむふあそむとあそむ里あそむれあそむ香あそむ
 のあそむ法師あそむがあそむ梅あそむ香あそむ方あそむのあそむ衣あそむれあそむ

掛香あそむ臭あそむきあそむ白あそむとあそむくあそむ今あそむ比あそむ去あそむとあそむ
 梅あそむてあそむ世あそむ話あそむ畫あそむとあそむ号あそむしあそむ一あそむ部あそむ五あそむ
 卷あそむとあそむ編あそむりあそむ他あそむ見あそむ之あそむ恐あそむ雖あそむ多あそむ之あそむ
 彼あそむ初あそむ々あそむとあそむ友あそむとあそむ救あそむじあそむうあそむ乃あそむ也あそむ碎あそむ云あそむ
 ハ粟あそむ飯あそむとあそむ心あそむくあそむ六あそむとあそむ鱗あそむとあそむ釣あそむがあそむ
 博あそむ胸あそむをあそむとあそむ免あそむしあそむ法あそむ人あそむ未あそむ
 中あそむがあそむやあそむ柞あそむ本あそむ活あそむとあそむ尋あそむもあそむとあそむどあそむ
 水あそむ昌あそむ代あそむ陽あそむ法あそむのあそむ橋あそむ乃あそむ渡あそむせあそむるあそむ
 力あそむ水あそむ上あそむのあそむ勢あそむはあそむ口あそむよりあそむ出あそむるあそむ流あそむとあそむ

汲り汲りたるをききし土陽り
 ちくちく知る所はこれ禁裏より満
 承寺の沙弥名ありおひこ
 内室しれ願のうまの事
 ねおしししく序と

世話盡目錄

第一卷之部

- 一 四季之話 しよきの
- 二 神祇之話 かんぎの
- 三 釋教之話 しやくけうの
- 四 魚之話 いしの
- 五 述懐之話 しよわいの 付 哀傷
- 六 猿之話 さびの
- 七 遊格之話 よかくの

八 酒宴之話 いさよの話し 付 蘇仙

九 碁之話 碁の話し 付 将碁双六

十 躍之話 とりの話し 付 相撲

第二卷之部

十一 史言之話 いしごの話し

十二 消息之話 せうしき

十三 市之話 いちご

第三卷之部

十四 吕波寄 いろうとん 因 俳諧付

第四卷之部

十五 體用之事 たいようの

十六 付句嫌物 つけく

十七 打越嫌物 うちこ

十八 二句嫌物 ふたご

十九 三句嫌物 さんご

二十 五句隔物 ごご

廿一 七句隔物 しちご

廿二 面媧物 おもて

廿三 折嫌物 おり

五句教之事

五俳諧制法之事

其切字之事

其賦物之事

其俳諧和漢之事

第五卷之部

其回文詞 同 一卷

其教句帳

其付句

其三教屑千句

世説盡卷第一 皆塵迹

一四季子之話

初春

正月ちびり子月ちん端月たん陰月いん孟春まうしゅん南年なんねん

履端りふたん獻歲けんさい肇歲しやうさい大族たいしやく王春わうしゅん

皆初春みなはつしゅん青陽せいやう春之しゅん名な元三げんさん元日げんじつ歲且さいじゆ

星唱せいしやう冰様ひやうやう屠蘇散とそさん同酒どうしゆ菓子かし

腹赤はらせき贊さん椀飯わんぱん鏡餅きやうもち年とし注しゆ明方めいほう

吉書きちしよ新春しんしゅん筆試ひつし星せい以い為を忌い也や



若水めし宿門松門のを花用

大後菜梅子 皆先くさめあゆいしめ

系仕物 皆をたきこる 目出交春 融春年歌

去年今年旧冬改年ま長

立春年玉礼扇 色榮木陽氣

明の成 年奇 年越と後子

とと夜 玉ありととため 教子

ひの豆 中め りりり。きご。ゆがり葉

雞煮 長振舞 松栢子 子目

初寅も急し文 万歳来七草

七日首句 白馬言云 け三物 ころ名日也 紅網粥

十五 やぶつり 教入 十六日也 蒼天 春 霞 三月

双調 三月 鶯 長閑 同 柳 依保 姉

同 野梅 春春水 氷わむ 氷解 同

残雪 消雪 雪汁 くら。あてり

雪あられ 萱草 菜摘 若菜 梅

黄梅 常陸 常葉 糸 十日 縣石 十一日

卯杖 卯 踏歌 春會 十四五日 霰 散走 六日

六日 至

踏歌 踏歌 御新 十五日 左後

長日 踏弓 厄神祭 廿日團

子。具足餅 木牙 木牙 下萌

角 角 東風 三月 椿花 雉子

豚月 三月 燒野 鳴鳥 白尾

朝露 鈴 杉花 小山 雲雀 轉

插毒 葱 土筆 萩菜 山椒皮

返波 返波 法然 法然 忌 忌 汁

中春

二月 丑月 如月 夾鐘 羨景 夜

更著 花朝 皆異 二日灸 八月 五別

物 物 出語 出語 彼者 彼者 祈

年祭 大原祭 春日祭 春日祭

薪能 同 涅槃像 佛刻 石塔

十六日産 田 返畑 打蛙 苗代 田螺

初午 二月 堂牛 王春 至 改雁

燕鳥 棠梅 同 貝同 鯛 海棠

木瓜 木葉皮 呼子 鳥胡蝶 あふ

為^{あま}は^ま系^ま蒲^か公^ま系^かわ^らぶ^らぶ^らけ^ら薊^{あま}

獨^{ひとり}活^か虎^こ杖^{じやう}防^{ふう}風^{ふう}野^の老^{らう}去^き菊^{きく}

舊^{ふる}款^{くわん}冬^{ふゆ}塔^{たう}は^は海^{うみ}雲^{うみ}藕^{くわん}根^{こん}

菜^{さい}之^の花^{はな}も^もろ^ろの^の蔕^{てい}蔕^{てい}葡萄^{ぶつ}之^の

塔^{たう}接^{せつ}木^{ぼく}草^{そう}鞠^{きく}贈^{くわん}花^{はな}曇^{どん}木^{ぼく}

牙^はは^はり^りも^も系^ま先^{せん}疾^{しやく}春^{はる}仕^し夏^{なつ}

二^{ふた}七^{しち}瘡^{そう}雁^{がん}與^よ住^{すま}吉^{きち}吹^ふ貝^{かい}日^ひ春^{はる}

雨^{あめ}三^{さん}月^{げつ}永^{えい}日^{にち}同^{どう}梅^{ばい}草^{そう}暖^{ぬる}氣^き

末春

三月^{さんげつ}寅^{いん}月^{げつ}季^き春^{はる}弥^や生^{せい}苦^く春^{はる}

姑^こ洗^{せん}桃^{たう}浪^{らう}皆^{みな}異^い三^{さん}日^{にち}良^{らう}句^く桃^{たう}酒^{しゆ}

曲^{まが}水^{みづ}宴^{えん}蓬^{ほう}餅^{ひやう}雛^{ひな}遊^{あそび}已^ひ日^{にち}校^{がう}

須^す麻^ま法^{ぽう}校^{がう}住^{すま}吉^{きち}塩^{しん}下^げ皆^{みな}三^{さん}日^{にち}也^{なり}

七^{しち}花^{はな}梨^り花^{はな}桃^{たう}小^{せう}卒^{そつ}も^も

二^{ふた}系^ま通^{とう}梅^{ばい}休^{きゆう}ハ^ハ花^{はな}十^{じゆ}日^{にち}南^{なん}条^{じやう}

石^{いし}流^{りゆう}水^{すい}嵯^さ峨^が念^{ねん}佛^{ぶつ}千^{せん}本^{ぼん}念^{ねん}仏^{ぶつ}新^{しん}

迦^あ身^{しん}扶^ぶ淨^{じやう}乾^{けん}供^{くわん}弘^{くわん}法^{ぽう}天^{てん}台^{たい}礼^{らい}拜^{はい}

講^{かう}着^{ちやく}和^わ布^ふ青^{せい}苔^{たい}温^{おん}氣^き遲^ち日^{にち}

花血はなぢ花鬘はなま心之花こころの花詞苑ことばの花はな

鎮ちん花はな系けい登の築り藤ふじ系けい摘つみ款かん

冬ふゆ躑躅つとむ交まじ用よう之の春はる之の春はる隔を

春はるヨリ後のち去い心こころ来き去い若わか春はる

むむささ花はな見み見み長なが春はる刺さ風かぜ車くるま

花はな葱そう塔た法はふ弟てい塔た我われも香かう草くさ

初はつ夏げ

四し月がつ卯う月がつ孟まう夏げ法はふ至し仲ちゆう呂りよ

梅うめ月つき麦むぎ秋あき皆みな異い更さら衣い朝あさ白しろ重おも

給たま綿わた校がう神かみ系けい大だい神かみ系けい三さん輪りん上じやう

稻いな荷かり系けい同どう法はふ後ご平へい野の系けい上じやう申まう

立た田でん系けい胃い廣ひろ瀬せ系けい同どう八はち瀬せ系けい上じやう

於お多た賀が系けい上じやう山さん科か系けい日にち一いつ粟むぎ寺てら五ご

山さん玉ぎよく系けい申まう梅うめ宮みや神かみ史し上じやう大だい原げん系けい同どう

松まつ尾お灌かん佛ぶつ送そう生せい新しん友とも入いり友とも入いり友とも入いり

日にち蚊ぶん帳じやう初はつ時とき鳥とり学がく初はつ吉きち田でん系けい

中ちゆう峯ほう峨が中ちゆう當たう磨ま新しん茶ちや風ふう爐ろ

茶ちや木ぼく若わか系けい乃の相さう卯う花はな志し

茶ちや木ぼく若わか系けい乃の相さう卯う花はな志し

世
け。牡丹つばきの八やちきりきり忍しのり

牡丹つばき芍薬しやくやくののし花はな

またまたまたまた麦むぎ同どうきき白しろの花はな

石楠花いしかんが葵あひ少すくきき葱そう菜さい莖かき莖かき

夏木なつぎ立たてて花はな木き柳やなぎ花はな玉たま子こ

葛くわ内うち好この梅うめ子こ水みづ鷄けい竹ちく子こ虫むし

燕つばめ巢の蟄ひそ虫むし交まじ向むか後ご黄わう鐘しゆ洞どう液えき

中ちゆう夏げ

五月ごがつ辰たつみ月げつ皋こう月げつ麩ふ賓ひん
皆異名也

菖蒲しょうぶ同どう刀たう削けう絲し甲けつ紙しののかり

五日ごにち良らう白はく端たん午ごソそんんじじ競けい馬ば

競けい駢べん百ひゃく多た丸まる葉えつ葉えつ取と香かう薔せん丸まる

五月ごがつ致し森しん雨う隊たい土ど粟も花はなああじじ致し

くくんんひひ花はな早さ苗めうささしし女にょ田でん秋しゆ惟い

子こ草そう物ぶつ水みづ名な泉せん名な鷄けい扣こ結けつ

泉せん點てん薦せん芥がい川せん駢べん鴉えつ川せん松しょう川せん

廉れん子こ狩しゆ神しんのの射しや常じやう盤ばん

木き下げ葉えつ木き下げ園えん皋こう月げつ園えん

下莉 楊麻 萍花 藤花 栗

花 櫻 梅 松花 橘 為竹 玉

梅 枇杷 實 杏 山椒 槐花 杏 實

椹 紅花 末摘花 てすむ花 わ

ちよへ 莉花 百合草 忘草花

海松 和布 菱 鈴花 花てりせ

む花 文菊 ぶ花 子 茄子

胡瓜 小角豆 夕負 あき瓜 子 蚕

蚊 蚊火 枕 蚊 金 賤 玉 麻 玉

源 茶 糸 日 今 宮 糸 室 祇 祿 糸

日 半 夏 日 交 祈 禱 行 白 草 交

至 短 衣 毛 智 衣 烏 毛 玉 衣 袴

流 名 之 毛 皆 皆 月 林 荒 之 竹 子

折 一 以 三 風

末 菱

六 月 巳 月 水 吉 月 季 交 九 交

林 鐘 晚 交 徂 暑 酷 暑 伏 暑

暑 刺 名 也 皆 異 炎 天 水 室 日 氷 餅 祝

紙園會

七日 同法後燒米瓜水粉

土用丁虫巢蒜実虫飼夜飼是

床交香藁散辛麴麦粉汗

嘉祥食熟田祭 日津鳴家竹生

鳴系のつく鳴系 毎古活鞍馬竹

切橋立系 文珠會 扇團

蟬一網涼泉 清水活水花交瘦

霍乱白雨切麦 ところんが飯

菫風雲葉子 高遠涼形蓮花

瓢馬瓜李淑折一宿酒醴酒

蠅殘虫築打 二秋秋近涼潔

さつこ二りり湯惟子 巾巾常

尻扣 殘之志 流園子 以後交果

初秋

七月午月涼月夕月孟秋

夷則各也 是天 平調 金風

秋一葉柳散桐初嵐 露 雲方

三月 府置殘暑 秋涼七夕織姫

牽牛星 熒星 合祭 糸 紅

橋 鶴 橋 天川 舟 凡 巧 奠 種

夜 七日 暮 夕 星 稻 雲

立 鼎 山 伏 岩 又 盃 蘭 盃 盃 卮

子 盆 供 金 宿 花 花 枝 折 水 向

玉 糸 先 神 糸 聖 具 糸 棚 經 絶

餓 鬼 一 二 乃 飯 藜 藜 之 飯

送 火 流 火 奉 燈 籠 圓 燈 籠

百 八 灯 念 佛 踊 法 界 衆 生 火 躍

新 米 早 稻 蒸 米 粟 菽 蝸

花 火 身 入 冷 冷 氣 氷 結 崩

築 秋 藪 入 十六日 芦 鹿 音 吹 萩

萩 爲 仙 舟 花 刈 萱 六 の お 子

如 郎 花 桔 梗 芭 蕉 木 槿 菱

蓉 草 花 花 野 花 園 虫 上 乘 四

鈴 虫 松 虫 棧 織 虫 け る と ぐ び 虫

蚕 三 月 後 蟻 出 ち ら ろ り 虫 又 び じ

虫 介 虫 三 蓑 虫 蓆 住 虫 穂 倉 絶 廿 七 日 信 別

カリを 美佐山系日 秋風出子秋乐

律ノ之入 相撲 其日 台合 授出

日 月習目水習目 霞冷 露肌

蓄蕎麦切 三月

中秋

介未月 南昌深秋 往秋 法秋

迎寒 皆異 八朔 田面 送同礼 音

月冷 梅紅葉 礎 夜打 杖 給

敷 司日 敦 敦市 豆 豆

無ちま 瓜 小豆 青豆 月 芒 明月

五 明 在 月 と 在 月 中 秋 杖

宛 中 秋 至 初 塩 救 生 云 信

濃 駒 引 桐 原 駒 引 駒 送 豆 明 月

日 五 十 五 や う 月 桂 星 月 在 月 都

月 月 光 出 づ ぎ の 光 皆 甲 斐 病 牽

上 野 駒 引 五 古 米 稻 雁 強 雁 厚

瘡 雁 来 紅 家 晴 初 冬

紅 小 雀 得 色 多 鶴 贈 香 色

鶯 ニトリ 小鳥 コトリ 後 ノチ 芝 シ 日 ヒ 影 カゲ 草 クサ

蘭 ラン 鷓鴣 セウコウ 花 ハナ 槿 キキョウ 尾 ビ 花 ハナ

花 ハナ 思 オモ 草 クサ 月 ツキ 草 クサ 葛 クワ

女 メ 杖 ツヅ 竹 タケ 物 モノ 槿 キキョウ 玉 タマ 日 ヒ 種 タネ 物 モノ

菜 ナ 經 キヨウ 蒔 マキ 植 ウヅメ 木 キ 長 チカ 夜 ヨ 新 ニホ 酒 サケ

温 ユヅル 酒 サケ 小 コ 田 タ 子 コ ひ ヒ こ コ ち チ ろ ロ こ コ 田 タ 子 コ

そ ソ こ コ 畠 ハタチ 秋 アキ 入 イレ 木 キ 杖 ツヅ 竹 タケ 切 キレ

野 ノ 分 ワケ 野 ノ 山 ヤマ 色 イロ 名 ナ 采 サイ 散 サン 夜 ヨ 電 デン

朝 アサ 電 デン 肌 ヒ 之 ノ 樓 ロウ 突 ツツ 落 ラク 椎 ヅ 落 ラク

胡 コ 桃 トウ 桤 シ 突 ツツ 蜜 ミツ 柑 カン 楸 ク 枇 ヒ 栗 リ

枳 キ 茸 シロ 椎 ヅ 茸 シロ 初 ハツ 茸 シロ 鼠 ネズ 茸 シロ

篠 シノ 茸 シロ 紅 ベニ 茸 シロ 蕎 ソバ 麦 麦 酢 スウ 居 イ

未秋

九 ク 月 ツキ 申 シ 月 ツキ 長 チカ 月 ツキ 菊 キク 月 ツキ 無 ム 射 セ

季 キ 秋 アキ 季 キ 商 ショウ 窮 キウ 秋 アキ 皆 皆 異 異 法 法 地 地 日 日

水 ミヅ 那 ナ 系 ケイ 菊 キク 名 名 白 白 重 チカ 陽 ヤウ 宴 エン 菊 キク

酒 サケ 菊 キク 小 コ 袖 スエビ 温 ユヅル 酒 サケ 菜 ナ 醜 ウシ 醜 ウシ 各 各

也 也 布 フ 祿 ロク 神 カミ 子 子 鞆 タヌ 子 子 系 ケイ 孫 ソノ 菜 ナ

十日 伊勢守幣日 住吉市 十三 夜

十一 豆明月 日 十三 夜

十二 太秦条 日 十三 夜

十三 赤松 日 十三 夜

十四 紅葉上散木 日 十三 夜

十五 赤松 日 十三 夜

十六 赤松 日 十三 夜

十七 赤松 日 十三 夜

十八 赤松 日 十三 夜

初冬

秋之前後 九月盡

十月 酉月 陽月 孟冬 玄英

小春 玄神月 皆異 幽天 三月後

時雨 洞時 ぬ 霜神 毎 日 十

月夜更 三月 納豆汁

盤涉 洞 殘 兼 宴 日 五 達 摩 忌

六 金比羅 云 日 法華 會 日 蓮 法

新海日 承日餅 座禪 ころん

鴨汁日 ころん日 火燧日 駝巾日

らん日 火桶日 埋火日 水風呂日

若湯日 菜飯日 湯豆腐日 紙子日

干鳥日 死鴨日 月夜日 炭竈日 炭

賣之羽日 弓場始日 鼻鼻日 鼻下

日向日 水向日 冬梅 ころん日 三月 雪平湯

と兼和也 ころん 水必過 ころん

中冬

十月 霜月 暢月 六呂 戌月

陽凌 黃鐘 皆異 冬至 曆奏

新嘗日 中卯 豐明日 中辰 北

糸日 蔭葛日 糸日 火燒小

忌衣 雪敷 災鉢扣之行

食衣 ころん 氷つら 氷魚

細代日 淡あまのこ 鱈 鱈

龜葉 枇杷花 菜花 乃仙花

落木 粟米 斬 髪置 綿

大師備ひあつて寒

未冬

十二月 亥月 臘月 推月 稽月

寄月 季冬 大呂 歲園師走

皆異 神楽 庭火 林業 朔 明

星 朔 蚕 朔 抄 ころも ころも 朔

法 當 朔 皆 神 樂 朔 物 ぬ 之 皆 冬 朔 求 子

東 捲 皆 神 樂 衣 賊 小 寒 入 宅 朔

卯 之 焼 齋 精 荷 前 使 日 門 松

速 日 廿 九 日 大 寒 仁 名 五 月 丙

佛 唱 餅 つ き 年 丸 物 年 木

正 月 小 神 仕 立 日 深 日 用 之

年 忘 行 年 流 年 年 内 春

近 首 分 格 門 年 德 棚 了

役 拂 鬼 豆 首 迫 月 迫 節

季 以 借 錢 乞 燧 乞 歲 言 古

牀 拂 年 壞 除 夜 大 晦 日

節 折 飯 名 和 布 刈 拵 多 猪 毛

右載之弁其月其子周
世知夏八皆作之可及
弟子老也神祇教示准
之可知

二神祇之話

念船放生會系守神 天志
戸八咫鏡 真坂樹 ちき かし
子 鴉羽葺神 采 火燒庭
火 湯立板枕 千早根 忌竹

火燒庭 便衣 木綿 小忌衣
東捲 求子し女子 紫ひりろ
本贄 穂屋作 津後 韓祿
星仏 役後 星唱 木綿 中子 ぬき
ぬき 袷 賽 鞆 口音 神
主宮 太鼓 鈴 祢 竹宮 祢 壘
宝釵 内侍所 大忌 惠 義 酒 年
法 薪 能 夢 想 月 待 日 月 拜
氏 系 忌 明 子 ぬき 忌 切 火

忌火 志の肉 火物立 愛忠精
 忌 折文 起法 四豆物忌 血忌
 竈後 金打 洗米 不中 淨封
 牛王 肝 飯米 散錢 庚申 待
 神子 内後 已日 稔 精を 志め
 繩 祿 匠 給馬 鑄流 与 聖後
 伊勢 海 多比 与 海 葵 葛之 類
 神 休木 日 腰 忍 松 神木 出た 入
 神 酒 神 子 惟子 神 先 自 和

申 雨乞 祈 くらく 物怪 吉日
 撰 罰利生 通 疾 爰ら ぐん 枕
 多 弓 祈 念 接 神子 海 深 妻
 多 の 返し 炎 結 神 呪 咀 返
 初 午 弓 初 亦 明 方 吉 凶 見 金
 神 鬼 門 荒 神 丑 時 未 祭 立
 駒 夫 同 是 之 所 あり 何 とも 不 然
 隆 徳 智 神 樂 あ ぶ れ 物 籠
 比 神 冥 氣 三 木 神 出 借 名 為

宮籬 瑞籬 馬面社 檀香
及 檜皮 神歌 神下 舟玉
之神 道隆 神 神勅 說宣

三教教之語

家出 法師 坊之 鉢扣 比丘尼
布袋 法橋 法眼 法下 知識
智者 看經 孝養 供養 堂
塔墓 卒於婆 位佈 前世 後
世 仏供 冥供 祖師 日名 涅槃

像二月 刹 旛香 室戸 こと 僧

法法 問答 裳沙衣 漢紫 紅衣 之 袴

鉢闍 瀾伽 其 曉 行人 門 流 行

經 惟子 眠 夢 出 家 殊 數 一 支 之 袴

親日 忘日 今日 每 非 時 袴 未

為 未 兼 尚 精 之 飯 日 無 之 池

於 勸 安 內 鉢 香 沖 奉 之 豆 齋

荒 和 布 上 袴 信 者 後 生 於 秘 室

觀 念 觀 法 歌 目 唱 本 來 面 目

四十九日一周忌 第三年忌

皆雜取 其外釋教之河不違載

具之可存也

四 惡之語

祈神 懸文 流立 云云 付 非 初

花 簪 簪入 鼻 肌 常

新 枕 肌 觸 惡 口 紅 粉 宮 守 下

誓 友 襟 侍 契 物 束 切

ちハ ぬ 日 人 ぎ 腎 虛 念 老

洞 媒 あ ず ぞ 中 久 立 之 跡

其 中 云 云 出 枕 出 切 下 出

揚 枝 あ ぶ 心 王 付 癆 瘵 初

聾 媼 言 結 神 待 思 丑

通 々 々 吸 思 草 忍 草

忘 草 々 々 び 々 天 築 地 之 崩

源 氏 付 雲 日 盃 品 定 叙 系

柳 腰 叙 々 白 袋 逸 香 惹

梅 香 神 々 神 之 落 々 巾 袖

恨^{うらみ}戲^{あそび} 琢^{たく}揚^{やう}枝^え 形^{かたち}見^み揚^{やう}枝^え

金^{かね}付^{つけ}帯^{おび} ち^ち付^{つけ}占^{せん} ち^ち占^{せん}

ち^ち占^{せん} ち^ち占^{せん} ち^ち占^{せん} ち^ち占^{せん}

浮^{うき}世^よ狂^{きやう} 雅^{みやび}而^に け^けま^まう^うの^のい

嫩^{もろ}う^うを^をう^う久^く人^{にん} 二^に片^{ぺん} 佳^{けい}人^{にん}

戲^{あそ}女^め 縁^{えん}腕^{うで}引^ひ 股^{もも}ア^アの^のう^う

お^おう^うか^か形^{かたち}ど^どと^と 姓^{せい} 神^{かみ}心^{こころ} じ^じま^ま

こ^こお^おと^と 瘦^{すく} ち^ちち^ちち^ち ち^ちち^ちち^ち ち^ちち^ちち^ち

丸^{まる}額^{がく} 傾^{かたむ}城^{じやう} 遊^{あそ}ぶ^ぶ 遊^{あそ}ぶ^ぶ 遊^{あそ}ぶ^ぶ

久^く人^{にん} ち^ちち^ちち^ち 古^こ衣^い 古^こ枕^{まくら} ち^ちち^ちち^ち

落^おち^ち ち^ちち^ちち^ち 二^に心^{こころ} ち^ちち^ちち^ち 途^{ちよ}

え^えめ^め ち^ちち^ちち^ち 縁^{えん} ち^ちち^ちち^ち ち^ちち^ちち^ち

錦^{にしん}字^じ 詩^し 下^か 細^こ 下^か 常^{じょう} ち^ちち^ちち^ち

切^き目^め 引^ひ 目^め の^の ち^ちち^ちち^ち ち^ちち^ちち^ち

み^みざ^ざり^り 目^め ち^ちち^ちち^ち 障^{さう} ち^ちち^ちち^ち 尻^{しり} ち^ちち^ちち^ち

め^め ち^ちち^ちち^ち ち^ちち^ちち^ち ち^ちち^ちち^ち ち^ちち^ちち^ち

し^しち^ちち^ちち^ち 出^で ち^ちち^ちち^ち ち^ちち^ちち^ち 常^{じょう}

陸^{りく} ち^ちち^ちち^ち 錦^{にしん} 木^き 偶^ぐ 寝^ね 別^{べつ} 寝^ね

陸^{りく} ち^ちち^ちち^ち 錦^{にしん} 木^き 偶^ぐ 寝^ね 別^{べつ} 寝^ね

陸^{りく} ち^ちち^ちち^ち 錦^{にしん} 木^き 偶^ぐ 寝^ね 別^{べつ} 寝^ね

陸^{りく} ち^ちち^ちち^ち 錦^{にしん} 木^き 偶^ぐ 寝^ね 別^{べつ} 寝^ね

物怪 姿鏡 姿見 びね鏡
 投たて男 作怪 羨男 松
 質小松 志道 突あまんら
 こむもふびもがりまきもて
 あぢあめびごめ 力を投るこ
 ろびお 茶飲伽 洗浚人 道友
 中 内め云 意云 ころ病月
 際 ださあふ 常解 一夕咄あ

らく 粧丸を 付は 盃
 女房 妹よめ し女 ころれ
 めく 門立 くらき ち吏 借打
 同元 恋慕 連理 之中 比翼
 之契 結お 湯次 女秘お 宿お
 衣這 过立 过占 妻よめ
 うんあふし 寝物 結め 物い
 志道 ころれ くらき ち吏 借打
 遠目 同元 思積 恋やま

七つを胎わたり子うぶり
つく目もろふ子も倍も

ヤ 聖卒 素心八十 十七八 敷入

駒大之是る所 か指之世語ニ云多詞
不可勝計依白新大

可敬物 施婿 楊妻死 李夫人余

之名 深河 前末ノ名迄 美女名只
吳妻并約

皆立く不違哉具
之唯テ可知

五 述懐之話

昔 古 老 生 死 苦 夜 已 盡 深 祀

持力 憂角 隱家 命 白 誓

頭 舌 眉 衆 浮 世 隨 世 寧 人

齡 鏡 影 誓 心 也 庭 以 乞 食

兼 唐 一 殘 刺 云 誓 老 浩 審

家 賣 措 切 負 報 負 者 病

子 乞 乞 紙 袋 乞 乞 日 内 乞 乞

病 肩 衣 衣 物 倍 強 積 也

炭 賣 乞 乞 油 乞 乞 乞 乞

三つべんも、あ仕やとあ住
 脾胃虚 虫くひむ 姑湯居
 るや住 倦子 自動 忠 心
 三つげ少社 云云 云云
 三つ酒法 事缺 破紙子 洗性
 三つ袴さび刀 小尻は中るも
 げさや 池を縁 ぬき薪 白
 のこまらるゝとあはらぐとあ
 あさやー ちらあや 店傾

鍋尻やぐと侍と世代後世
 世路よりあやも子と園と迷
 んとけらじと 貞女一灯
 三つを あはらぐと 蛋風牧の
 せや 七まると 借状はし
 せら 俺振舞 俺と死 迷惑
 口惜 三つと仕合 三つとあさ
 男はらとらとらとらとら

長傷之話

親の傍に子に先立患の泪
 力落十方失古枕古衾
 死人墓拂髮切云人愁
 歎離別也別不悔の方
 三形見早九餅三内喪入
 野色送多於野煙死出山
 三津川三途焰麻廟屍
 恥白骨云常煙古塚野
 曝草美影冥途野外出

披髮舍利ごころ形記
 落髮今生届日暇乞後生
 去産造言自逝末期一句
 同水とハ時ゆめる形見
 分後家尼公代易流自
 死天人玉後髮と松流名
 六旅之話
 餅食益福ち巾頬あわ
 りんごる表草鞋脚中

立付股引 御堂火打袋
矢立ろさん 札んささ 水踏
皮子飯袋 麦粉 腰桶巾
葱後 菅笠 足中 釣かめ
さし子 桑熊 尻子 追鼻
紙袋 柄袋 茶屋 餅屋
問屋 旅籠 西皮 子糸 結
賃舟 貨荷物 昼出飯
休石 腰懸松 宿入 退出し

宿札 うん荷 付荷 荷役
るせさ 通馬 渡舟 舟使
便宜 便状 表紙 文官 封文
あさぎ 荷 船脚 浅巻 浴銭
本賃 三次 茶外 舟心 舟
碎馬 睡 うれ 波之音
塩がら 月和 追平 風 馴
子舞 唐芝 土湯下 遊遊
下東下 及び 四角 道路

西必吹礼 西必吹脚 东必修
り 法國一見 伊勢多官 然
の 聖系 富士 諸階 下首
途 酒 迎 漆 美 宿 送 便 船
海 車 海 京 主 事 少 老 治 賑
玉 土 産 土 産 下 土 産
款 船 入 唐 海 朝 め ん づ や
ら づ う ら づ 常 子 中 船 燈
登 坂 田 舎 じ じ 名 智 志 ぬ

里 う づ 敷 宿 是 だ じ じ づ
ち ぞ れ ん や 運 目 ま せ 文
忍 馬 づ 車 借 徒 歩 持
舟 揺 た づ 造 ち づ ら ん 袋
袋 袋 番 袋 袋 荷 付 づ 一 里
坂 石 中 付 紙 糸 結 づ 家
か した づ 一 山 海 提 持 糸 結
舟 海 流 人 づ 舟 舟 舟
七 誹 諧 之 話

發句 服才三表裏折
 出項 句去 字玄 亦越腰
 用付 後付 巻付 輪廻 さい合
 花郭公月 岩人 倫居 居
 山歌 有边 猿神 祇禊 教
 急 述懷 衰傷 玄常 四
 季 雜 狂歌 本歌 ても
 う 多 ちう 上句 秀句 名 終
 花前 点 丸 總 点 巧 士 執

第 付 雲 深 句 回 島 句 だ
 け 換 投 宗 近 点 者 花 本
 去 作 志 詠 合 和 賦 物 何
 人 獨 吟 一 喉 再 遍 出 づ ち
 出 流 會 草 葉 同 之 作
 之 紙 地 四 付 矮 物 淨 物
 淨 物 中 歌 植 物 唱 ね せ
 六 義 内 方 松 系 時 食
 打 邊 天 家 歌 約 切 字 三 っ 介

とね字りあまると五とド

七り上句下句懐紙射

用ざれ句うらひめ平句

誰云句一其句家教句亭

白服邪入付取成執事一

句付る句一付る句建教

退去會席夜去月次

八酒宴之話

わやく之盃小ぢ抄書文酒飲

日本鬼早服省酒麴花

神ありが中しりるとは

まよふれ三盃息切二日酔看

餅丸空穂付乱足あそぶ

丸看看上戸一粘筆之風情

意産一格三國一粘筆系

市本産自救口取中酒

吸物醉狂間見毒飲試

名表持亭之振名ふる

舞之話

於^{ころり}河^がく^を紀^の世^の久^く細^く工^く
在^まん^ま芝^の居^に勸^をむ^らく^ら

一曲^{いつく}福^の守^り戸^の乱^れ足^を有^らず^も

少^すく^も色^の区^を区^を列^れ子^を大^たく^も未^も舞^を

く^も也^也 い^ふ教^の多^く之^を又^も踏^を踏^を螺^を螺^を踏^を
本^の舞^の付^け物^は不^ま違^は具^を我^が

舞^の之^の勢^のハ
可^か知^る

謡之話

能^の狂^{きやう}言^{ごん}三^{さん}市^し敷^{しき}早^{さう}太^た史^し之^のて

竹^{たけ}子^こは^は道^の次^の身^み及^{およ}び^おり^おり^お

河^がく^を色^の少^くく^も色^の区^を区^を

あ^のの^の物^{もの}ぞ^ん章^の地^ぢ柳^の子^こあ

い^まも^も柳^の乞^ぎハ^は花^の柳^の子^こあ

と^の乃^の以^の法^の國^の一^の見^の僧^の修^の行^の也^也

が^がめ^のん^の聲^のも^もら^らく^くら^らく^く

上^のり^りと^と下^のり^りた^たて^て少^く

田^の原^の芝^の居^に舞^を者^を勸^をむ^らく^ら

と^とや^やし^しと^と多^の化^の祈^の禱^の酒^の肴^の

十八心 又鶴木ハ付物シテ外
鳴ル多之可持ク

九 碁之語

碁盤 榧木 白石 黒石 之角

四目害 四目次 志也 常果

碁竹節 足駄 碁平次 出死

九目 東白 西黒 黒目 八目

後打 切也 ぬりま 行目

せり。次 碁也 碁次 碁足 碁

先逃 碁也 碁中

碁とちり 碁也 碁一石 碁

碁後 碁也 碁也 碁也

碁三盤 碁也 碁也 碁也

碁あつた 碁也 碁中

碁碁 碁也 碁也 碁也

碁狸之股 碁也 碁也

碁怪瘡 碁也 碁也 碁也

碁隅 碁也 碁也 碁也

碁交行之柄 碁也 碁也

将棋之話

駒馬あり玉より言だて馬
せきつめ歩つめ本飛金
銀競馬打歩鼻より尻
尻不利も透枱つじり
總つ保め圍列も總らん
角行は徳業せよ不郭金古
彦三井戸名一先河倉上総之
方へ引んと及早馬ぬりさ

川又 風呂敷松木ハ付物也
おんねぬぬ

双六之話

橋之番白石黒石さしどろ
駒之目も歩二さし坊はれせ
好もしつとら山橋志くせ坊
直教之業にのりと春て定て
を六尺彌道沖この志海つら
やうきつらうひの神こ月ぐ
つらも酒餐はげくさしお

まゝぐいもふりひとくま十
人まゝのそが我の兄弟はらも
つららんそそ和田のうしりも
まゝ波やまがのまやこ引下
作らぬやいづみんまのひ
ぐりくそられりぞり切ふ
ぐぬま部てつゝあやたま
に月あざく耳がまあま
つらまきひ向引かぞ屋

捧りーあまそ返回てら

ちびにまがさんまじでく

ちまうや賊ーあまそ屋

あまそ又
ままそ死
ホハ付物し

十踊之話

東踊まま踊
ままそ
逸余踊土佐

踊ま踊ひま踊や子踊

音ま花丸いで踊ぬめり踊

念仏踊
けんぶつ
祓踊
はらひ
小歌
こた
狂
くる

園子扇回子拍子ゆり腰
足踏ふじ芝居落拂盃
蘭盆木ハ又蕙脈小兒
歌ハ付物也

相撲之話

芝居堅堅巻廻落拂ゆ
出お撲服関名景むらひ
四年崩大勝幡巻後芝拂
瓜丸居り物也

小つゝ大つゝ丸鴨之羽折
鴨之頭もあつゝ何物也

早八ひさしと云不知侍放
中 潮三五人習て載之
他准之 卯三ハハハ

名園行司あハ又
林弟又召合按出其弁
七月廿七日ハハハ

兼酒家あつゝ八ヶ條
篇目ハ於田舎遊踏切

